



[宮脇さん90歳](#)

90歳 すべて自分の歯
「玉ねぎ、もっていくかあ」。いつも遠慮しないでよろこんでいただく。この方が育てた野菜は、どれをとっても立派で美しい。数年前までは、有機茶も栽培し、シイタケもたくさん作っていた。何十キロもある椎茸の原木を軽々と担いでいた。

朝の散歩のとき、畑でお会いした。宮脇眞一さん(浜松市天竜区春野町)。ことし90歳になる。体はがっしりと頑丈。すべて自分の歯だ。26本もあるという。ビール瓶の蓋を歯で抜くことができる。

8歳のときから、日記を一日も欠かさず
8歳のときから、日記を一日も欠かさずにつけている。戦時中は、志願して兵隊に行った。トイレに入っ
て、かすかな明かりで隠れて日記をつけていたという。そして、その日記は、ちゃんとすべて保存してある。

古文書、詩吟、奥さんの世話
古文書も読める。詩吟もうたう。しばらく前まで、老人会の会長をされていた。また数年前まで、認知症
になった奥さんの介護を何年もされていた。食事から下の世話まで。「そんなことはなんでもないと笑う。
奥さんは、今は近くの介護施設にいる。

この山里には、こういう鉄人のような宝のようなお年寄りが、おられるのだ。

浜松北部地区担当 生きがい特派員 池谷 啓